入門司書講習　　　　**「どうやって学校図書館を作ってきたか？」**

2017.6.10　附属小金井小学校にて

附属世田谷小学校　金澤磨樹子

Ⅰなりたて司書時代

1. ちょっとその前に

・子どもを見る視点

・子どもの本との出会い

・語りとの出会い

1. 三鷹市の司書としての取り組み

・図書館整備　→廃棄・レイアウト・サイン

・司書の仕事を知ってもらうために

→先生用のお便り・朝の打ち合わせに参加・先生とのコミュニケーションを心掛ける　　　　　　　　　　　　　　図書館活用計画の作成・図書館運営について職員会議で時間をもらって話す

・一人の先生の実践を学校全体へ　→図書の時間の過ごし方

1. 司書教諭との出会い

・全校の取り組みとしての読書記録・読書目標　→全校で読書に力を入れる（国語の研究）

・片手落ちになっていた調べ学習に力を入れる

→図鑑＆百科事典の利用指導・調べ学習の実例の保存

　　・図書館活用計画の作成（司書教諭）→授業との関連を盛り込む

・図鑑・百科事典の利用指導

Ⅱ2校目の学校で

1. 担任が連れてこない図書の時間

→校長との図書館運営について話す・教師用図書館だよりで自分の考えを伝える

1. 読書の習慣化・読む力をつけるために

→読書記録・学年ごとのおすすめリスト作成・図書館だよりでのおすすめの本の紹介・リテラチャーサークル・ビブリオバトル・心に残った一冊の本・1年のまとめとしてのおすすめの本の紹介読めない子へのアプローチ・学級文庫の整備

1. 調べ学習のために

・調べ学習の依頼をメモにして取っておく（提供した資料のリストと一緒に）

・学校内の研究授業への参観・調べ学習の時間の手伝い（教室へ・学校図書館で）

Ⅲまとめ

　・司書としての学びの場を作る　（どんな学校図書館にしたいのかといったイメージを持つために）

→三鷹市の中で・他の団体へ

　・コミュニケーションの大切さ　→先生と・保護者と・公共図書館と・司書と

　・蔵書構成を確かなものにする→とにかく本を知る、読む。

図書館だよりでテーマを決めて本を紹介する・仲間との読書会・科学読物研究会への参加

　・子どもたちが自分の求める、好きな本を手に取れるような分類と配架をする。

　・読む力を育てる。そのために司書として何をするかを考える。

　・伝えたいことを自分の言葉で話せるように！